

美術科 中学校第3学年カリキュラム

月	単元・指導内容	学習指導 要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例、◆課題
4	鑑賞 自分らしさを見つけて (鑑)	B 共通事項	1			○いくつかの自画像をみ見て、その人物はどんな人物か内面を想像させたり、どんな表現のしかたをしているかなどに着目させる。		
5 6 7 8 9 10	私との対話 ～自画像～ (絵)	A(1)(3) 共通事項	14	自分の思いや考えを表現するために、背景や表情、ポーズなどを工夫する。それには表現意図に合った画面を考える発想力と構想力を養う必要がある。	・1学年 「モダンテクニックを使った平面構成」 「自然物からの構成」 「いろいろなスケッチ」 ・2学年 「想像の世界への飛翔」	○人物画の構成の仕方、自画像がもつテーマ性、鉛筆の使い方、様々な技法など、今まで学習したことを総合的に使えるよう指導する。 ○中学校生活の美術の総括として、これまでに養った観察力、構成力、描画力を発揮しながら制作に臨ませる。		◆自画像を描く動機づけをしっかりと行い、自分の内面と向き合える制作時間にさせる。
10	鑑賞 ～生活を彩るデザイン～ ～感動の共有～ (鑑)	B 共通事項	1			○美術が演出している身の回りの生活や空間を意識させる。 ○用途と機能性を備えた美しいデザインとはどんなものか考えさせる。		
11 12 1 2	～心の形のオブジェ～ (彫)	A(2)(3) 共通事項	11	○自分の思いや考えからデザインを発想することを苦手とする傾向があるため、自分の作品のイメージを持ち、美しいデザインを発想する能力を養う必要がある。	・1学年 文字のデザイン ・2学年 銘々皿	○様式を問わずに粘土で心の形をつくる。抽象表現を意識させ、マークや字にならないよう指導する。		
1 2 3	～生活に生きるデザイン～ ()	A(2)(3) 共通事項	7	自然の色や造形をとらえ、イメージを大切に自分なりの新しい形を生み出す発想力を養う必要がある。	・2学年 銘々皿	○本物そっくりになるように色や形について考えさせる。 ○日本の伝統的な美意識について考え、自分なりの表現を生み出させる。		
3	鑑賞 ～世界を魅了した輝き～ (鑑)	B 共通事項	1			○日本独特の金を用いた絵画や工芸品を鑑賞させ、身近な平泉の文化や歴史にも触れる。 ○日本美術における諸外国からの影響を踏まえ、良さを味わう		
	合計		35					